

# シンフォニー



特集1  
子どもたちに、  
今、伝えたいこと

2・3P

特集2 女性活躍推進法が成立しました 4・5P

第14回郡山市男女共同参画フェスティバルレポート 6・7P

男女共同参画課からのお知らせ 8P

シンフォニー(交響曲)には、みんなの声を響き合わせたいという想いが込められています。



vol. 44  
2016.Spring



# 子どもたちにも、今、伝えたいこと

「お互いを認め合える社会」

最近では、DV、デートDVだけでなく、ストーカー行為、セクシャル・ハラスメント、虐待、いじめなど暴力も多様化しています。市民一人ひとりが性別にかかわらず、その人権が尊重され、あらゆる分野において平等で、豊かな活力ある社会の構築には、お互いを認め合える関係が大切です。



## キャップ CAPこおりやま

子どもたちがあらゆる暴力(虐待、いじめ、誘拐、痴漢など)から自分を守るための人権教育プログラムを啓発・普及するために、学校や地域で活躍しているみなさんをご紹介します。



▲劇で伝えるCAPのメンバー



**Q** CAPとはどのような意味ですか？  
A 子どもへの暴力防止(Child Assault Prevention)の頭文字からつけられています。1978年にアメリカで誕生しました。

**Q** いつもはどのような活動をしていますか？  
A 人が生きるために大切な3つの権利「安心」「自信」「自由」を守るために、子どもたちに「嫌と言わない」「逃げる」「相談する」の3つの方法を教えています。郡山市内だけでなく、県南地域などを回り、年間約70回のワークショップ(話し合い)を開いています。東日本大震災以降は、日本ユニセフ協会と連携をして行っています。

**Q** 活動を続けていて良かったことを教えてください。  
A 子どもたちがいきいきしている姿を見るのが喜びです。子どもたちとの会話を通して、大切なことを伝え合いながら、共有出来る事で多くのエネルギーをもらっています。

**Q** 大変なことはありませんか？  
A 仕事を持って活動をしているので、練習の時間を調整するのが大変です。また、皆さんとの話し合い後に子どもたちの話をきちんと受け止めてあげることができたかと反省をすることも多いです。でも、学ぶことが多いので、得ることのほうが大きいと感じています。



インタビューを終えて  
(市民編集委員)

子どもたち自身が、心を育くむ力とスキルを身につけ、社会との風通しの良い関係を築くためには、大人の意識改革だけではなく普段から子どもたちとの開かれた関係を築くことが大切と感じました。

CAPこおりやまのみなさんが、子どもたちの姿から手応えを感じ、幅広い活動に繋げていく姿はすばらしいと思いました。

## リ・プロダクティブヘルスアンドライツプロジェクトチーム 【一般社団法人 郡山医師会】

「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ(性と生殖に関する健康と権利)」とは、子どもを産む、産まない、産むとすればいつ何人まで産むかなどを選ぶ自由、安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つこと、さらには思春期や更年期における健康上の問題など、幅広い課題を対象としています。

郡山医師会では、平成25年度から「性犯罪の防止と被害者救済」、「10代の心と体の健康教育」を目的に活動を続けています。

忙しい診療の中、子どもたちの明るい未来を信じて郡山市内全28中学校を回る医師たちをご紹介します。



▲現場を知る医師の話を熱心に聞く中学生たち



桜井産婦人科医院  
桜井 秀 医師



この長い名前のチームは、特に思春期の子どもたちの心と体の健康を守るために協力しようと、震災後に前郡山医師会長であった故菊池辰夫先生の下に結成されたオール郡山の異業種編成のチームです。活動4年目となった現在までの主な活動実績は、①性被害者対応マニュアルの完成と②中学校への産婦人科医師派遣による思春期講座の開催です。男女の心と体のしくみを知ることがきっかけに、一人ひとりが輝いて生きてほしいとの願いが込められています。

医療法人 慈繋会 トータルヘルスクリニック  
土屋 あさ子 医師



3年前から、医師会の事業の一環で中学生に思春期講座を行っています。毎日の産婦人科の診療で実際に直面する月経の悩み、性感染症、妊娠、出産、中絶等について体験を交えて中学生に講義しています。私たちが話をすることで、思春期の生徒たちに性に関する正しい知識、考え方が学生たちの頭の片隅に少しでも残って、将来思春期から大人へ成長していくにあたっての性行動に役立っていただければと切に願うところです。

医療法人 岡崎産婦人科  
岡崎 隆行 医師



産婦人科診療を行なっている立場から、安易に性行為を行うことの身体的・社会的リスクや性犯罪から身を守る方法、万が一被害に遭ってしまった時の対応など、通常の学校教育では教えてもらえない内容を伝えられる貴重な機会を頂いております。特に男子生徒は、性行為のリスクや女性が暴力によって心に大きな傷を負ってしまう事を理解することで、将来の性暴力の加害者になってしまう可能性も回避できていると思っています。この草の根的な活動によって性暴力被害で涙を流す人が少しでも減ってくれば幸いです。

# 女性活躍推進法が成立しました!!

〔女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年8月28日成立）〕

働いている女性、働こうとしている女性たちの多くの思いを実現します！

女性の力を「我が国最大の潜在力」として、働くことを希望する女性が、職業生活においてその個性と能力を十分に発揮できる女性活躍推進法が成立しました。  
平成28年4月からは、この法律により多くの事業主が女性が活躍するための事業主行動計画を策定し様々な取り組みを行っています。

## 〔法律の内容〕

この法律は、計画策定にあたり、大きく分けて3つのことを義務付けています。（常時雇用する労働者の数が300人以下の一般事業主は、計画の策定は努力義務です。）

### ①女性の活躍に関する状況把握や課題の分析

「女性採用比率・管理職比率」「勤続年数男女差」等を把握し、自らの組織が解決すべき女性の活躍に向けた課題を明らかにし、課題の分析をします。

### ②行動計画の策定

状況把握・課題分析を踏まえた「計画期間」「数値目標」「取組内容と実施時期」を定めることとします。

### ③女性の活躍に関する情報公表の義務付け

就職活動中の学生や求職者向けに、女性採用比率などの情報を公開することとなります。

※情報公開は、事業所のホームページや厚生労働省「女性の活躍・両立支援総合サイト」(<http://www.positive-ryouritsu.jp/>)で公開されます。  
※法律については、内閣府男女共同参画局のウェブサイト([http://www.gender.go.jp/about\\_danjo/law/](http://www.gender.go.jp/about_danjo/law/))でも公開されています。



みんなが活躍できる社会が実現できるといいね

認定マークは、「えるほし」だね!



女性活躍推進に関する取組が優良な事業所と認定されると厚生労働省のホームページに掲載されます。

## 〔認定制度〕

### 〔認定制度について〕

- ・女性活躍推進法に基づき、行動計画の策定・策定した旨の届出を行った一般事業主のうち、一定の基準を満たし、女性の活躍推進に関する取組の実施状況などが優良な一般事業主は、都道府県労働局への申請により、厚生労働大臣の認定を受けることができます。
- ・評価項目を満たす項目数に応じて、取得できる認定段階が3段階あります。
- ・認定を受けた一般事業主は、認定マークを商品や広告、名刺、求人票などに付すことができるようになり、女性活躍推進事業主であることをアピールすることができます。
- ・認定事業主であることをアピールすることにより、優秀な人材の確保や企業イメージの向上などにつながることが期待できます。



郡山市も様々な取組みを行っています。

## 郡山市の女性活躍推進の取組み



### 1 こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議

あらゆる分野での女性の活躍を推進するため、地域経済団体・賛同企業・保健医療機関・教育関係など27団体が連携する会議を開催しています。

毎年、テーマを設定し女性の社会進出のための様々な情報交換を行っています。

今年度は、「仕事と家庭・地域生活の両立支援」をテーマに3回開催しました。



〈第2回会議の様子〉

こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議に参加している団体は、このマークが目印です。



#### 【主な会議内容】

- 第1回 平成27年7月 事業の目的・行動計画・スケジュール等概要説明
- 第2回 平成27年10月 セミナー・情報交換会  
「女性活躍推進のためのワーク・ライフ・バランス」  
講師：特定非営利活動法人 OYAKODOふくしま  
代表理事 横田 智史 氏
- 第3回 平成28年2月 事例発表・情報交換会  
「ワーク・ライフ・バランス推進の取組みについて」  
発表者：学校法人郡山開成学園 郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部  
就職部長 森 みい 氏

### 2 女性活躍推進セミナー



●働く女性や働く希望がある女性を対象に、講演会・情報交換会を開催しました。

- 講演会  
夢を形に～会社設立 私の挑戦～  
講師：(株)トレイン 代表取締役 千葉 彰子氏
- 情報交換会  
コミュニケーション～悩み解決法～  
講師：国家資格2級キャリアコンサルティング技能士 森合 恵子氏

#### 【アンケートから】

- ・話が具体的で直球で伝わってきたので、楽しく聞くことができました。（講演会）
- ・とても勉強になりました。グループワークも楽しい時間でした。（情報交換会）



〈千葉氏による講演の様子〉

●「キャリア・アップ」と「ワーク・ライフ・バランス」の2コースのセミナーを開催しました。

- キャリアアップセミナー～女性管理職とは？～  
講師：(株)エフコムソリューションサービス本部統括部長 二瓶 幸恵氏
- ワーク・ライフ・バランスセミナー～それぞれのバランス～  
講師：(株)福島人材派遣センター郡山支社長 北浦 典子氏

#### 【アンケートから】

- ・意識の高い参加者が集まることで、刺激を受けました。（キャリア・アップセミナー）
- ・こういったセミナーを増やして、多くの女性に参加できるようにしてほしいです。（ワーク・ライフ・バランスセミナー）



〈セミナーの様子〉

# フェスティバルレポート

品川郡山市長▶



3/12(土)

## オープニングセレモニー

平成27年度郡山市男女共同参画推進事業者表彰式と男女共同参画作文コンクール優秀賞表彰式がおこなわれました。

### 平成27年度 郡山市男女共同参画 推進事業者表彰

(前列左から)  
一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院 様  
株式会社 エヌジェイアイ 様  
株式会社 建設相互測地社 様  
(後列左から)  
株式会社 福島銀行 様  
株式会社 福島人材派遣センター 様



(五十音順)

### 男女共同参画作文コンクール優秀賞受賞者

今回は「未来を創る主役は私」のテーマで募集しました。

最優秀賞

優秀賞



中学生の部  
緑ヶ丘中学校 1年  
伊藤 蒼真さん



高校生の部  
あざが開成高等学校 1年  
小林 里佳子さん



中学生の部  
宮城中学校 2年  
布川 未夏さん



中学生の部  
郡山ザベリオ学園中学校 2年  
名原 蒼生さん



高校生の部  
今泉女子専門学校高等課程 3年  
佐藤 真生さん

#### 「福島と僕の未来」

最優秀賞 伊藤 蒼真さん

僕は将来、医療機器を開発して色々な人々の役に立ちたいです。特に、放射線を利用した医療機器を開発したいです。そして、放射線に対する誤解と福島県に対する偏見を無くしたいと思っています。なぜなら僕は、美しい自然や多くの歴史や文化、おいしい食べ物に恵まれた福島県が大好きだからです。

2011年3月11日に起きた東北地方太平洋沖地震による津波の影響で、東京電力福島第一原子力発電所で事故が起きました。原子力発電所から飛んで来た放射性物質のせいで外で遊ぶことができなくなりました。その時、小学二年生だった僕は、『なんてこわいものが飛んできたんだろう。』と思いました。でも、時間がたって外で遊べるようになり、放射線について勉強する機会も増えました。僕は、浜通りの一部をのぞく大部分の福島県は放射線による、健康被害の心配のないことを知り安心しました。そして、放射線が色々なことに利用されていると知りました。特に、放射線を当てるだけでガンを手術しないで、治せると知ったときにはビックリしました。僕がこわいと思っていた放射線は、人を健康にすることもできるのです。

僕は放射線を利用して病気を治療する医師になるかと思いました。でも僕は、患者さんに対するよりも物を作るほうが好きだと気が付きました。今、文化研究部という部活動でロボットを作ってい

て、自分が考えたロボットが動いているのが嬉しいからです。

放射線を利用した医療機器を開発したいと決めた僕は、どのような勉強をすればいいか調べてみました。医療機器の開発には、機械の開発と機械を使う技術の開発の二つがあるそうです。機械の開発をするためには、工学部や理学部で勉強しなければいけません。機械を使う技術の開発をするためには、工学部、理学部の他に、医学部でもよいそうです。どちらの開発をするにしても、数学や理科の勉強を頑張らなければいけないようです。

僕の祖母は看護師をしています。原子力発電所の事故で放射線が問題になってから、放射線を使ったレントゲンの検査を受ける人が少なくなりました。レントゲン検査で受ける放射線の量は、少しなので心配ありません。放射線は正しく利用すれば医療の検査や治療にとっても役立ちます。僕は放射線に対する正しい理解が広まればいいなと思います。そうすれば、福島県に対する偏見も減らすことができると思います。

福島県では、復興への重点プロジェクトの一つとして、医療関連産業集積に取り組んでいます。僕は、福島県から世界にほこれる、医療機器を発信したいです。まだ、具体的にどんな機器を作れるか分かりませんが、今はまず、自分の知識の基礎を築きたいと思っています。そのために日々の学習を頑張りたいと思います。たくさんの本を読みたいと思っています。

# 第14回 郡山市男女共同参画

◀ 芝崎実行委員長

## 3/13(日) ふれあい発表会

- フルートアンサンブル・ドルチェ
- 朗読グループハイジ
- 華の舞(日本舞踊)
- 郡山ジャディス愛好会
- あさかの学園スクエアダンス同好会・郡山スクエアダンスクラブ
- 華翔クラブ(花架拳)
- 友・遊太極拳クラブ
- 静山流静慧会福島県(詩舞)
- 薫花架拳愛好会
- ハワイアンフラ愛好会
- 太極剣研究会



## 3/11(金)~13(日) 展示コーナー

さんかくプラザで活動している団体の皆さんが、日ごろの活動の成果を発表・展示しました。3日間に渡り多くの方々来場し、展示団体の皆さんと交流を深めました。



## 3/12(土) 講演会「日本人の品格」

講師 昭和女子大学学長  
坂東 眞理子 さん



東日本大震災の発生から5年を迎えた、3.11の翌日に御講演をいただきました。

「震災発生後、礼儀正しく、我慢強い。ルールを守り、分かち合うことができる東北人の姿が、世界中から日本の評価を上げたこと」を例にとり、そのモラルの高さは、日本人の品格を表しているとお話くださいました。

また、内閣府の男女共同参画局長時代や現在の大学学長の体験を踏まえ、働く女性の周りの人たちが子育てに関わることで社会が変わること、また、競争型社会の変換時には、コミュニケーション能力が高い女性が活躍する必要があることなどをお話されました。

会場は満員で、幅広い知識と経験に基づいたお話に、市民の皆さんも聞き入っていました。

## 3/12(土)・13(日) 市民自主企画

### 3月12日(土)

- ① 紙芝居「食から知る郷土の歴史」  
まなびの会
- ② 「女性のための電話相談・ふくしま」から見える福島の女性たち  
NPO法人 ウィメンズスペースふくしま
- ③ ジェンダーカフェat郡山  
NPO法人 市民メディア・イコール
- ④ 講演会「女性活躍と少子化対策」  
高齢社会をよくする女性の会郡山
- ⑤ 講演・意見交換会「すべての女性が輝く生き方、働き方って？」  
女性会議郡山支部・平和と民主主義を守る女たちの会(鳩の会)

### 3月13日(日)

- ⑥ 変わる世界・変えよう日本～海外視察研修報告会～  
(一社)国際女性教育振興会福島県支部県中地区



# 男女共同参画課からのお知らせ

## 「人権の花」運動をご存知ですか



▲平成27年度大槻小学校での人権の花運動の様子

郡山市では、様々な事業を通して人権の啓発、普及を行っています。その中の1つである「人権の花」運動は、小学生の児童のみなさんがお互いに協力して花を育てることを通じて、思いやりの心と人権についての理解を深めてもらう取り組みです。

毎年、市内12の小学校で実施しています。どの学校でも、児童のみなさんが協力して、種まき・水やりをして、綺麗な花をたくさん咲かせ、思いやりをもって育ててくれています。

## 男女共同参画に関する市民意識調査にご協力ください

郡山市では、男女共同参画のまちづくりを推進する基礎資料とするため、4年に1度「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施しています。

今年が調査年になり、市内に在住している方の中から、無作為抽出方法により選んだ3,000名に調査票を送付いたします。調査票の送付は6月を予定しておりますので、本調査への御協力をお願いいたします。

ご協力をお願いいたします



## 郡山市男女共同参画都市宣言

※郡山市では男女共同参画社会の実現をめざして、平成14年に宣言しています。

豊かな水と緑きらめくこのまちで

私らしい“私の個性”と  
あなたらしい“あなたの個性”のかがやきは  
男らしい 女らしいということよりも  
人として守らなければならない  
大切なものです



自分を認め  
相手を認め  
すべての人がともに歩むまち



それが  
未来の夢をひらくまち“こおりやま”です  
郡山市はここに  
「男女共同参画都市」を宣言します。

平成14年12月17日

## 「男女共同参画」を目指す拠点施設

郡山市男女共同参画センター

## さんかくプラザ

〒963-8876 郡山市麓山二丁目9番1号  
TEL 024-924-0900 FAX 024-924-0904  
E-mail sankaku@bunka-manabi.or.jp

- |                                           |                                                 |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| ●主な施設<br>研修室・集会室・<br>交流室・会議室・<br>和室・調理実習室 | ●利用時間<br>午前9時～午後9時<br>●休館日<br>毎月第3日曜日<br>及び年末年始 |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------|

さんかくプラザでは、学習や交流、情報収集、相談などができますので、どうぞご利用ください。



▲学習コーナー お気軽にご利用ください。



この印刷物は、環境にやさしいFSC®認証紙と植物油インキ、UDフォントを使用しています。紙ヘリサイクル可。